

インテリア実習（インテリア類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	3	学科・学年	建築インテリア科 3年
使用教科書					
副教材等	担当教員が配布するプリント、教材				

「インテリア実習」はどんな科目？

建築インテリア科（インテリア類型）の総まとめとしての実習です。卒業後の進路も含め、各自が今までに身に付けた専門知識・技術を生かして学習します。

「インテリア実習」の学習の特徴は？

木材加工を中心に「家具製作」「プロダクトデザイン」の2つのパートに分かれ、それぞれの課題製作を通して専門的な知識・技術を総合的に習得します。

「インテリア実習」で大切なこと（留意点）は？

一番大切なことは「安全」です。特に木工機械を扱うときには、ケガをしないように服装を正し、心の準備をして作業に取り組むことが大切です。

また、「実習を休んでしまう」と、他人よりも作業が遅れてしまいます。日頃から体調を整え、実習を休まないように体調管理することが大切です。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)		学 習 の ね ら い	
1 学 期	4	・オリエンテーション（パート決め）		A 家具製作	B プロダクトデザイン （遊具の製作）
	5	A 家具製作	B プロダクトデザイン （遊具の製作）		
2 学 期	6			①情報の収集	①情報の収集
	7	②設計・製図	②設計・製図		
	9	③木取り	③木取り		
	10	④トリミング加工	④トリミング加工		
	11	⑤部品加工	⑤部品加工		
	12	⑥仮組み	⑥仮組み		
3 学 期	1	⑦組立	⑦組立		
	2	⑧塗装	⑧塗装		
	3	⑨金具の取付け	⑨金具の取付け		
		⑩最終組立	⑩最終組立		

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

観点	評価規準	評価内容
関心・意欲・態度	インテリア実習に関する基礎的技術について関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取りむとともに、技術者としての、創造的・実践的な態度を身につけようとしている。	行動観察 (安全作業、服装、作業要領、掃除、片付け)
思考・判断・表現	インテリア実習に関する諸問題の適切な解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	作品評定
技能	インテリアの専門分野に関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	行動観察 (使用機械、器具の取り扱い) 作品評定
知識・理解	インテリアの専門分野に関する基礎的な知識を身に付け、インテリア産業界の発展と環境との調和の取れた在り方や現代社会における工業の意義や役割を理解している。	定期考査 レポート

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

実習は、専門高校ならではの科目で、一番の特徴がある授業です。建築インテリア科のインテリア類型の生徒として、「勉強する」ということを一番感じることができる科目であると思います。

3年生においては、建築インテリア科で学んだ様々な知識や技術を結集した作品作り、いわば総まとめの実習です。自分の力をすべて出し切り、素晴らしい作品を作り上げてください。

<留意事項>

- ・積極的に取り組み、きちんと一つ一つ理解して、実践力をつける。
- ・あきらめずに何度も挑戦する。
- ・服装や姿勢を正し、安全に留意して実習に取り組んでください。